

統計グラフコンクール審査講評

平成27年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計87点の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方を重点に審査しました。

その結果、特選5点、入選7点、佳作5点、合計17点を入賞作品として決定しました。

第1部 小学校1、2年生の作品

第1部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作1点の合計3点が入賞しました。「ふぞく小学校のステキな先生をしょうかいします。」では、学校の先生にアンケートをした結果をグラフにまとめています。調べた項目を、学校で学習した絵グラフにすることにより、それぞれの多さがくらべやすくなり、違いが読み取りやすくなっています。

「どこからきたの？」では、グラフを5ずつの区切りにし、何台かわかりやすいように工夫されています。和歌山城の駐車場に駐車している車のナンバープレートを9日間調査し結果をグラフに表しています。日本地図とも合わせて、来た場所が分かりやすくなっています。「スイミングのおともだち50人に聞きました。」では、アンケート結果を帯グラフや、絵グラフで表すことで、アンケートの結果が分かりやすくなり、男女の結果を比べやすい表になっています。アンケートの項目によって、グラフの表し方を工夫したところがよかったです。

どの作品も身の回りの素朴なことに疑問や興味を持って、データを集める工夫をしていました。これからも生活の中でいろいろなことに興味を持って、グラフに表し、大きさを比べたり、違いを見つけたりしてください。

第2部 小学校3、4年生の作品

第2部の作品の中から、特選1点、入選2点の合計3点が入賞しました。

「世界の絆で跳びまくれ！！」では、8の字跳びの記録を3年生で学習した棒グラフ、私の気持ちを4年生で学習した折れ線グラフを使って表しています。絵グラフも、項目に合わせた絵を使って表すことができていました。全体のまとめ方もきれいでした。「太陽光発電量」では、夏休みに毎日、天気と発電量を調べ折れ線グラフに表しています。天気と発電量の関係が分かりやすいように工夫されていました。項目によって、円グラフや棒グラフ、絵グラフなど分かりやすいように工夫されています。「e c oで守ろう私たちの地球」では、社会で学習した良好な生活環境を維持するためにみんなができることに視点を置き、グラフを使って表すことができていました。絵グラフでは、項目に関係した形（車、水道など）を使って数を表しています。丁寧な仕上がりになっています。

どの作品も、それぞれのグラフの特徴を生かした作品でした。

第3部 小学校5、6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作1点の合計4点が入賞しました。

「目指せ！背泳選手 和歌山の星 H先ばいには負けないぞ！」では、昨年度から大会の記録を塗り替えるという目標での頑張りから、取り組んだ作品でした。テーマが面白く、先輩の記録と自分の記録を同じ条件で調べたことをグラフに表すことができていました。2人の記録を色分けしてわかりやすいように工夫されています。「よっていこらよ！道の駅」は、近畿2府4県について調べた項目を、項目ごとや、各県ごとにグラフの表し方を変えて、比べた作品です。表題も工夫されています。項目ごとに、各県の特徴が見やすいよう

に工夫されていました。「未婚率と少子化」では、参考資料を元に日本が少子化傾向にあることや、海外との比較などをグラフや表を使って表すことができていました。年代別に色分けした折れ線グラフで分かりやすいようになっています。「地球を守るために」では、日本の平均気温の変化の原因や、環境をよくする森林面積の変化について、折れ線グラフや棒グラフ・円グラフを使って表すことができていました。調べた項目に工夫がみられました。

3部の作品は、テーマが多岐にわたっていろいろな視点から考えられていました。

第4部 中学生の作品

第4部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作3点の合計6点が入賞しました。

「このままで日本は大丈夫なのか??食料自給率」では、各国の自給率を比較したり、米や、小麦など個々の食料の自給率を調べたり、日本の都道府県で調べたり、工夫がされていました。グラフに国旗を使っていたのも国名がよくわかりました。「未来が危ない!?僕の住む町 ～和歌山県美浜町高齢化と人口～」では自分が住んでいる町が将来高齢化の進むことを予想して調査し、グラフ化した作品です。美浜町の人口の推移と和歌山県の人口の推移が似ていて、美浜町のだけの問題でなく、和歌山県の問題であることがよくわかります。「あなたにもできるかも!?地震予知」は地震前にいろいろな動物が異常行動をしたという記録からデータを集め、グラフ化した作品です。地震を予知しどのように生かすかこれから考えていくいい資料になります。「世界の現状」は、世界の子どもたちの就学率や児童労働率などがグラフ化され現状がよくわかるように工夫されています。日本と外国との違いがよくわかります。「THE CURRENT OF READING SITUATION」は、中学生の1日平均読書冊数を調べた作品です。絵やグラフがとてもきれいに作られています。絵グラフも工夫し調査した結果を表すことができました。「外国人観光客が日本に求めていること」は、訪中外国人の思いをグラフに表した作品です。グラフからわかることを表記し、さらに改善していくことをまとめとして取り上げています。グラフも工夫してかけています。

4部の作品は、どの作品も丁寧に作られていました。これからも、世界の情勢や自然災害などに目を向け調査し、それらを適切にグラフ化して、より分かりやすく伝わるように工夫してください。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部から、特選1点が入賞しました。

「守ろう和歌山温州みかん日本一!」は、ミカン収集量トップを維持するための対策をグラフ化しそれから読み取れることを的確にまとめています。考察も、色使いや字体を工夫し注目しやすい内容になっています。背景やデザインなどパソコン機能を有効に使った作品となっています。

これからも、パソコンの機能を十分に活用し、読み手に興味を持ってもらえるような作品をつくっていきましょう。

以上、各部門ごとに入賞作品を中心に感想をまとめてみました。これからも、身の回りの問題から社会・経済・環境問題まで興味や問題意識を持ったことを訴えるために、調査しグラフ化することに取り組んでほしいと思います。次回も多数応募されることを期待しています。